

Bグループ

Bグループでも同様に、にぎわいやまちなか居住、富士山といった視点からの意見が挙げられました。特に「減少する人通りをどのようにして増やすのか?」「夜のにぎわいと良好な居住環境の確保を両立するにはどのようにすべきか?」の2点はメンバー共通の意識としてみられ、昼のまちなかにぎわいを取り戻すためには各店舗の個性を活かせるまちづくりが必要、などの意見が挙げられました。

地区に共通する問題意識の存在がメンバー間で認識される機会となり、今後地区計画で定めるべき内容を考えていく上での基礎づくりの機会となりました。

A、B両グループの意見交換の内容をみると、「にぎわい」、「まちなか居住」、「商業の用途」、「富士山」といったキーワードがあげられます。

これらの点が富士駅の今後のまちを考えるにあたり、権利者の皆さんが気になっていることと思われるので、これらのキーワードを意識して地区計画の目標や土地利用の方針などの案を事務局で検討いただき、次回の検討会で皆さんと再度意見交換を行いたいと思いま

【次回検討会の予定】

12月11日(月) 14時~(交流プラザ2階会議室1)

■道路・街区の整備計画について

★富士市担当より道路・街区再編案の説明

- ・前回提示案は、地下道から北進した交差点部において、構造的に右折ができないといった問題があることから、再度計画案を検討しました。

★道路・街区再編案のポイント

- ・現在、検討中の計画案は以下のような特徴があります。
 - 東西道路を現状とほぼ同じ位置に配置する
 - 駅前広場の機能のうち、バス乗り場を東西道路と再開発街区の敷地の間に配置する
 - デッキで駅~再開発ビルをつなぐ

●道路・街区再編案に関する主な意見

- Q. 再開発ビルで富士山が見えなくなるか?
→ (市) 駅を出たところからは新しい道路の延長上に富士山が見える形となる。
また、建物の位置も富士山を意識している。
- Q. 幅の広いデッキを作ると、デッキでイベントができる。
再開発敷地内に広場を作らなくてもよくなるのでは?
→ (市) 今のデッキも多少広いが、その分1階が暗いという意見もある。

検討会の内容や参加などに関するお問合せは、検討会会員または事務局までお願いいたします。

【事務局】富士市都市整備部市街地整備課(再開発担当)

【TEL】0545-55-2797【E-mail】t-shigaichi@div.city.fuji.shizuoka.jp

きたぐち再整備だより vol.7

【発行】富士駅きたぐち再整備検討会
【発行日】平成29年11月

去る11月7日に平成29年度の第1回検討会を開催し、21名の参加がありました。
今年度は、富士駅北口周辺地区の目指すべき将来像を設定し、まちづくりを進める「地区計画」について検討していきます。今回の検討会では、事務局より地区計画制度の説明が行われた上で、「地区の現状と課題」および現状と課題に対して「地区計画でできること」が提示され、それを踏まえた意見交換が参加者間で行われました。また、第一地区での市街地再開発事業に伴う道路・街区の整備計画についても前回案からの変更点について説明が行われ、いくつかの意見があげられました。

■検討会の様子 2グループに分かれて意見交換を行いました



Aグループ



Bグループ

■平成29年度の活動内容について

・活動目的

これまでの再整備検討会での検討、第一地区や西側街区での再開発・共同化の動きなどを踏まえ、地区のまちづくりの方向を定める地区計画案を検討します。

・地区計画を策定する目的

① 富士市の玄関口にふさわしいまちづくりを進めるための目標を定めること

② これまで再整備検討会で検討してきた内容を、地区計画として形にすること

③ 共同化を行う区域、現状のまちの機能・環境を維持する区域など、地区のまちづくりの方向性を定め、今後のそれぞれの区域での動きを明確にすること

④ 市街地再開発事業を実施するために、必要なルールを定めること

・活動内容

地区計画は対象地区内の権利者全員に関係する内容のため、今年度の活動は、再整備検討会の会員だけでなく、未加入の方も対象に開催しております。

① 地区全体	・地区計画案をまとめることを目標に、検討会を開催して地区内の権利者全員で意見交換を行います。
② 第一地区	・来年度の市街地再開発事業の都市計画決定に向け、再開発モデルプランの検討をさらに進める予定です。
③ 西側街区	・西側街区において、今後どのような共同化が考えられるか、共同化のしくみやモデルなどの検討を行う予定です。

・地区計画の検討の手順とスケジュール（案）

平成29年11月7日	★第1回検討会 ・地区計画を策定する目的やまちの課題、本地区のまちづくりの方向性について取り上げ、意見交換
↓	
12月11日	★第2回検討会 ・本地区のまちづくりの目標に関する意見交換
↓	
1月	★アンケートの実施 ・第2回までの検討会で議論した内容をもとにまとめた本地区のまちづくりの目標の内容についてアンケートを実施
↓	
2月	★第3回検討会 ・地区計画案に関する意見交換
↓	
3月	★第4回検討会 ・地区計画の最終案に関する意見交換
↓	
地区計画案の完成	

■富士駅北口周辺地区の地区計画について

★地区の現状と課題の整理

一例として、以下のような現状と課題が挙げられます

- ◎人通りは減っているが、夜の時間帯は比較的来訪者が多い
- ◎住居と商業が混在して立地している箇所がある
- ◎建物の老朽化が進んでいるが、共同建物が多く更新が難しい
- ◎建物や看板の形・色にバラつきがある

★地区計画でできること

高度利用を図る	1階部分は店舗に	看板や広告を制限																																
																																		
壁面後退で歩行空間を確保	イメージに合わせた景観	建物の用途を制限																																
		<table border="1" data-bbox="2392 1031 2807 1356"> <thead> <tr> <th>建 築 例</th> <th>田園居住地区</th> <th>環境共生地区</th> <th>特定用途地区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住宅、アパート等</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>店舗・スーパー等</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>事務所等</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>遊戯施設</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ホテル、旅館</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>公共施設、病院</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>パン屋、米屋、豆腐屋、菓子屋等</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	建 築 例	田園居住地区	環境共生地区	特定用途地区	住宅、アパート等	○	○	○	店舗・スーパー等	○	○	○	事務所等	○	○	○	遊戯施設	×	×	○	ホテル、旅館	×	○	○	公共施設、病院	○	○	○	パン屋、米屋、豆腐屋、菓子屋等	○	○	○
建 築 例	田園居住地区	環境共生地区	特定用途地区																															
住宅、アパート等	○	○	○																															
店舗・スーパー等	○	○	○																															
事務所等	○	○	○																															
遊戯施設	×	×	○																															
ホテル、旅館	×	○	○																															
公共施設、病院	○	○	○																															
パン屋、米屋、豆腐屋、菓子屋等	○	○	○																															

★意見交換の内容（地区の現状と課題に対する意見や今後のまちづくりの方針）

Aグループ

Aグループでは、にぎわいや交通、まちなか居住、広場、富士山など様々な視点から意見が挙げられました。グループのメンバーの意識としては、富士駅北口のまちなかににぎわいを取り戻したい、ということが共通してみられ、そのなかで、商業以外の機能も含めてにぎわいをつくること、用途の棲み分けが必要かどうか、イベントをする広場の必要性、富士山の眺望スポットの確保などの意見、アイデアが出されました。

これらのことから、富士駅北口のまちに対する様々なことに関心や不安などを持っていることがお互いに認識できたと思います。